

報道関係各位

2016年4月11日

Object Management Group

一般社団法人組込みシステム技術協会

OMG が JASA のオープンなロボット標準を採択

Object Management Group (Needham, MA, USA、会長: Dr. Richard Soley、以下「OMG」)と一般社団法人組込みシステム技術協会(東京都中央区日本橋大伝馬町6丁目7、会長: 築田 稔、以下「JASA」)は、OMG 役員会が、JASA が提案したロボット及び組込みシステム向けのハードウェア抽象化レイヤー(以下「HAL4RT」)の仕様をOMGの標準として採用したことを発表いたします。HAL4RTは、異なるハードウェア上での同一アプリケーションプログラムの実行を実現するために、ロボットや制御システムのためのソフトウェアプラットフォームの基礎部分を提供します。HAL4RTの標準化により、デバイスのメーカー、デバイスのユーザー、ソフトウェアのユーザーは、異なるロボットハードウェアへのデバイスドライバの移植やアプリケーションプログラムの再利用が可能になります。

OMGは、国際的な開かれた非営利の技術標準コンソーシアムです。JASAは、開かれた非営利の日本の組込みシステムの業界団体です。先月、四半期毎に開催されるOMG技術会議において、採択のための投票が行われました。

OMG 会長兼 CEO Dr. Richard Soley 氏は、次のように述べています。

「JASAでの作業は、OMGがロボットコミュニティとの強い絆を育む手助けとなりました。私たちは、ロボットや組込みシステムの開発に興味を持つ人のために品質向上、開発コストの削減、生産性の向上につながる標準を開発するという作業を行っているJASAを称賛します。」

JASA 会長 築田 稔氏は、次のように述べています。

「JASAはロボット向けハードウェア抽象化レイヤーであるOpenELの国際標準化を進めてきました。JASAはOpenELを基にした日本の提案がOMGの規格として採用されたことを嬉しく思います。JASAはHAL4RTが世界中のロボットメーカーやデバイスメーカーで広く採用されることを期待しています。」

OMG について

Object Management Group(OMG)は、国際的な開かれた非営利の技術標準コンソーシアムです。OMGの各タスクフォースは、幅広い技術とより広い範囲の産業のためのエンタープライズインテグレーション標準を開発しています。OMGのモデリング標準は、ソフトウェアおよびその他のプロセスの強力なビジュアルデザイン、実行そしてメンテナンスを可能にします。

JASA について

JASAは、開かれた非営利の日本の組込みシステム(組込みソフトウェアを含めた組込みシステム技術をいう。以下同じ。)の業界団体です。組込みシステムにおける応用技術に関する調査研究、標準化の推進、普及及び啓発等を行うことにより、組込みシステム技術の高度化及び効率化を図り、もって我が国の産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的としています。

本件のお問合せ先

一般社団法人組込みシステム技術協会

本部事務局 jasainfo@jasa.or.jp 03-5643-0211